

個人投資家様向け説明会

2013年9月28日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732



- I. FX取引とは
- II. マネーパートナーズグループのご紹介
- III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
- IV. 業績の推移
- V. 経営戦略
- VI. 当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

I . FX取引とは

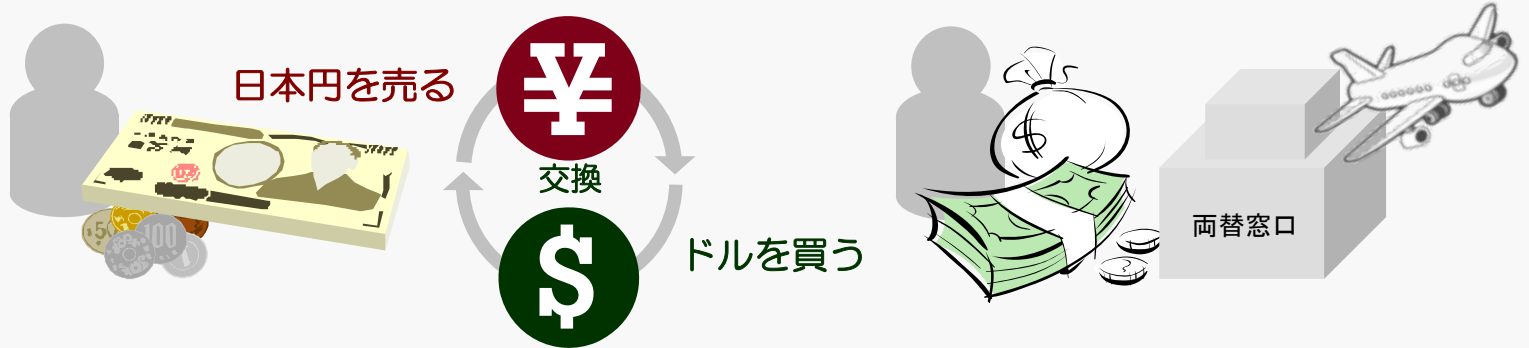




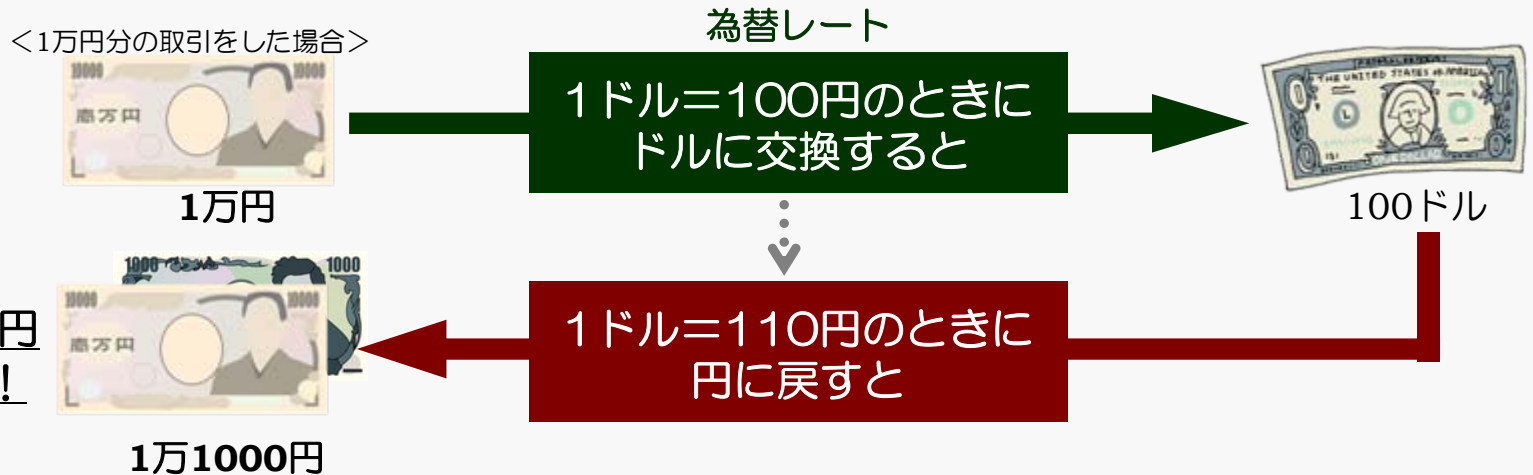
FX取引とは①

Money Partners Group

◆ FXとは「外国為替取引」のこと



空港などの両替窓口で手持ちの「円」を「ドル」に交換することは「円を売って、ドルを買う」ことになります。



このように円を外貨に交換し海外で買い物をしたり、為替レートに沿ってお金を売買して利益を出すこともできます。

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.34)も併せてご覧ください。

FX取引は証拠金を差し入れることで交換した外貨をそのままずっと持つこともでき、差金決済で売りと買いの差額で利益を得ることもできるのです。



FX取引とは②

Money Partners Group

◆ 外貨の両替・受取はFXを利用した方が断然お得！

< 10万円を交換した場合の両替手数料比較 > 米ドル/円レートが100円の場合

銀行・空港の場合

\$

(ショップで提示されているレート)

両替手数料 約3,000円



当社の場合

2.5円※1

200円 ※2

両替手数料
約200円

+500円で空港受取が可能！

9月30日申込分まで
初回限定で
実質手数料無料！

通常でも
約93%
OFF

※1 当社スプレッド÷2 (当社通常時スプレッド米ドル/円0.5pipsの場合)
※2 パートナースFXリアルタイムレートに20pips上乗分

マネパの外貨受取3つのポイント

POINT 1 インターネットで事前申込！カンタン便利な外貨両替！

POINT 2 海外旅行の主要な玄関口 成田・羽田・関空・セントレア のどこからでも受取可能！

POINT 3 当日は現金不要！受取専用カウンターでスピーディな受取！

◆ FXはレバレッジが使える！レバレッジとは「てこ」のことで、少ない資金で大きなお金を動かします。

例えば、FXで10万円の資金があり、レバレッジを10倍にすれば100万円までの取り引きができます。しかし外貨預金では100万円の取り引きをするには100万円の資金が必要です。



レバレッジは 最大
1倍～25倍



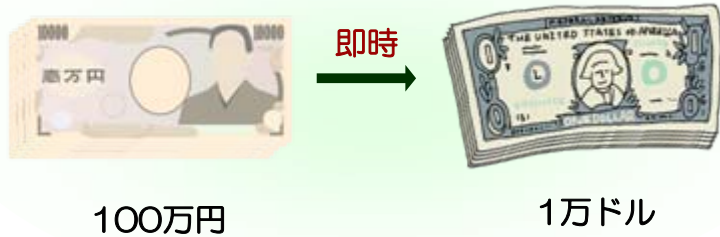
FX取引とは③

Money Partners Group

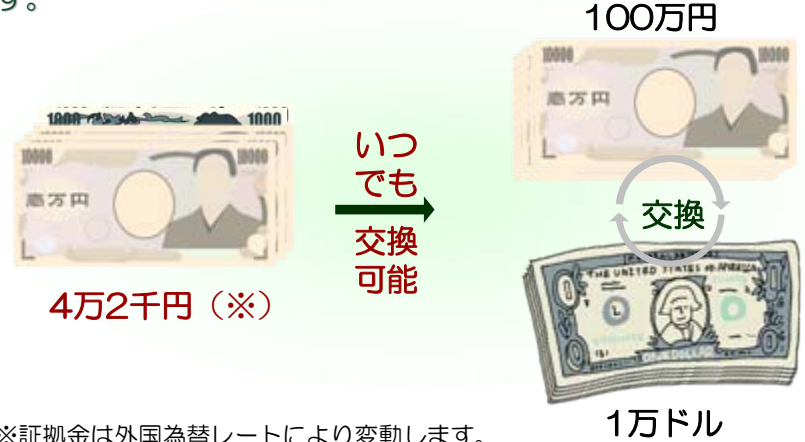
◆ 外貨預金とFXの違いは？ 基本的な仕組みは同じ！

1ドル=100円のと看1万ドルを購入する場合

外貨預金では1万ドルを100万円で買う（1万ドルの預金を行う）際には、1万ドルを即時受け取る代わりに、100万円を即時支払う必要があります。



FXでは1万ドルを100万円で買う場合に、4万2千円※の担保（証拠金）を差し入れるだけでよく、代金の受渡しはお客様の希望があるまで無期限に繰り延べることができます。



※証拠金は外国為替レートにより変動します。

為替差益を狙っての反対売買（1万ドルの売り）を行う場合、FXは売値と買値の差（スプレッド）が小さいため外貨預金と比べ極めて小さいコストで行うことができます！

◆ 従来の投資商品である株式や債券などとは異なる特徴を持つ

- 24時間取引可能
- 高い資金効率
- 多様な収益機会
- 外貨での受取可能
- 充実のセーフティネット
- 割安な取引コスト
- スワップポイント（金利差）
- 多彩な通貨ペア



外国為替証拠金取引（FX取引）市場について

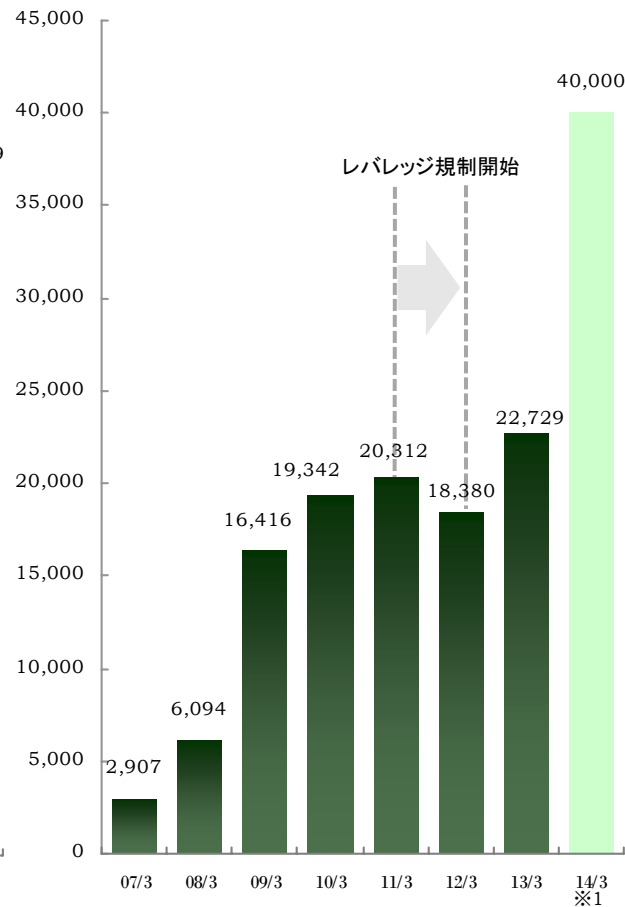
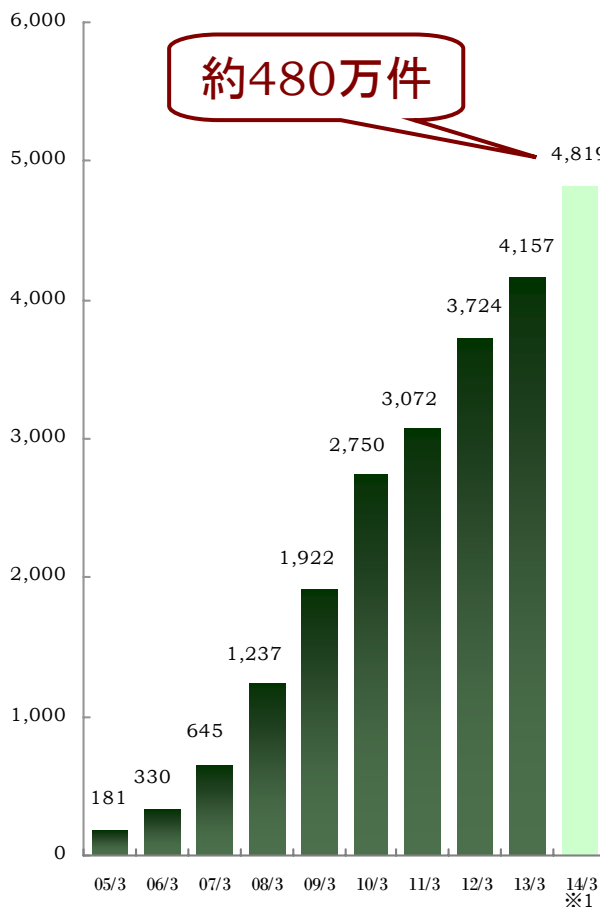
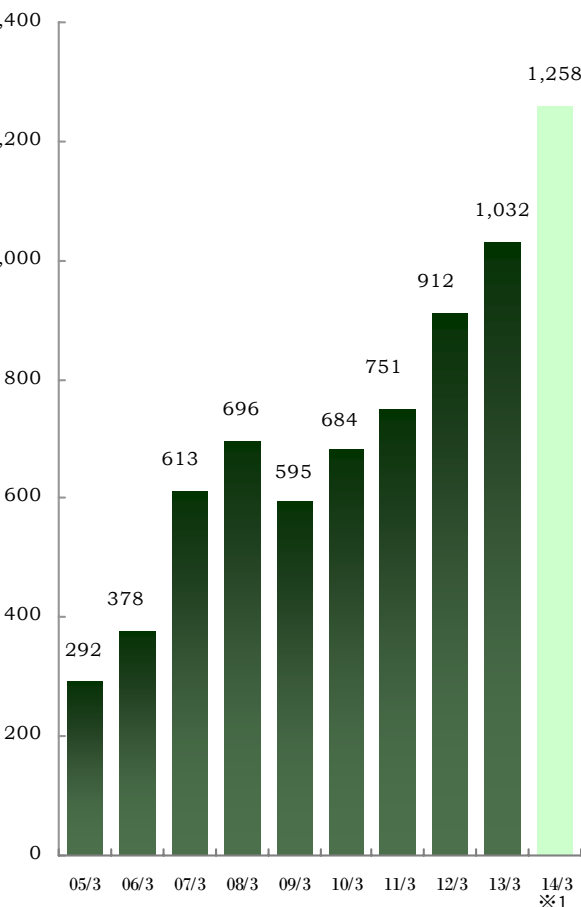
Money Partners Group

取引高については証拠金規制により減少したものの、今後はFX市場の透明化の進展に伴い預り証拠金、口座数は順調に拡大する見込

【預り証拠金推移】

【口座数推移】

【取引高推移】※2



矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2013」より当社作成

(※1) 矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2013」より当社作成のため、14年3月期の数値は実数ではありません。

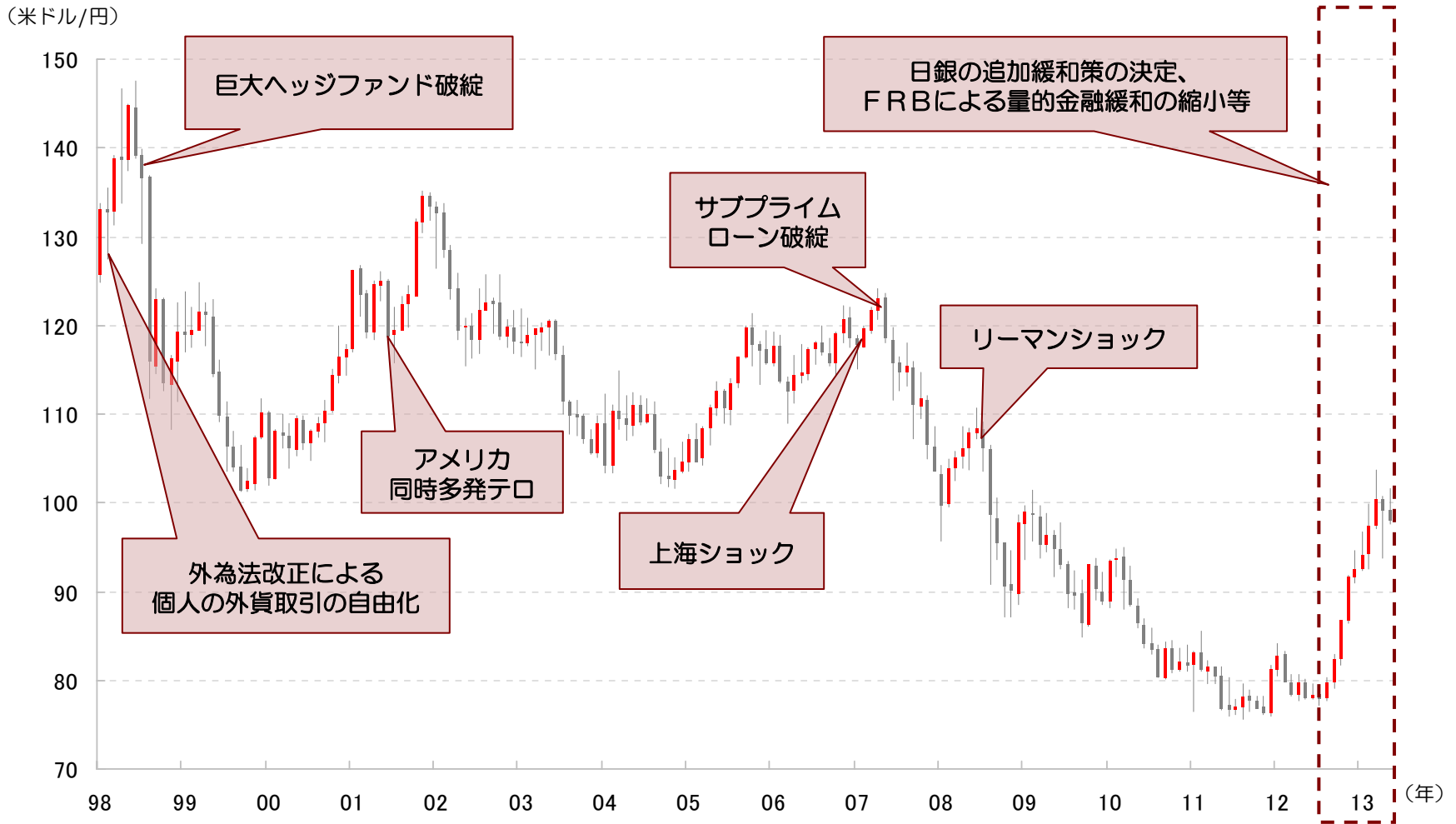
(※2) 対象は店頭取引のみ。取引高推移は10年3月期から金先協会のデータ参照。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

米ドル/円相場の推移



外為市場では2012年の政権交代を機に2007年夏以来の円高トレンドが終焉し円安トレンドに転換



外国為替証拠金取引（FX取引）の可能性

パスポート（一般旅券）発行数
(2012年1月～12月累計)

392万件

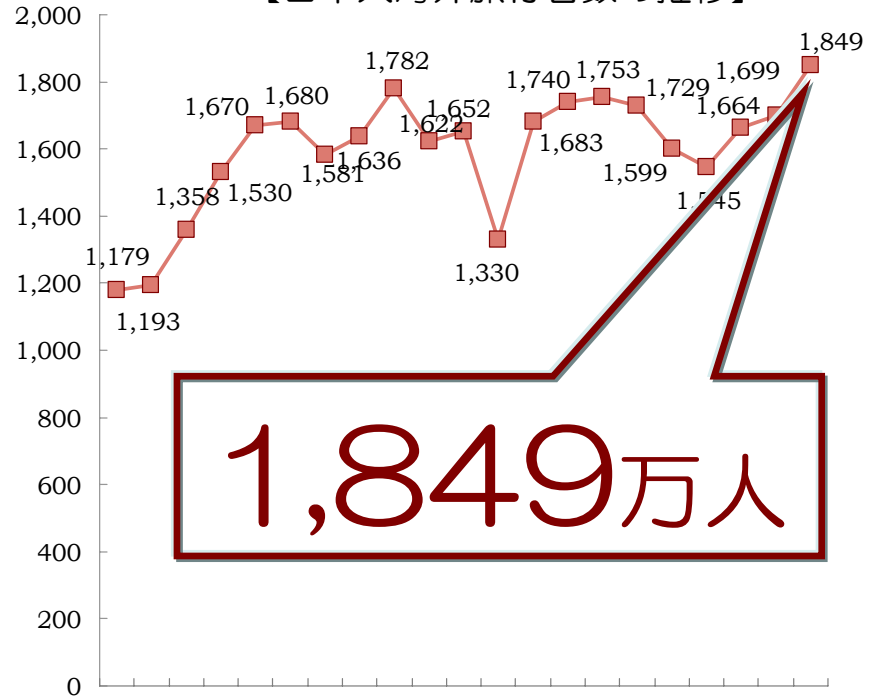
パスポート有効旅券数
(2012年12月28日現在)

5年旅券 750万人分
10年旅券 2,279万人分

計 3,030万人分

※外務省「旅券統計（平成24年1月～12月）」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



※平成25年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約3,000万人以上
FXの透明化・一般化が進めば、FX市場の成長も加速



投資商品としての優位性

Money Partners Group

【税制優遇】

平成23年度税制改正法案（うちFXに関連する部分）

「申告分離課税の適用（一律20%）」 「繰越損失控除が3年間可能に」

2012年1月決済分より適応



金融商品としてのメリットUP

より一層の整備が図られるFXマーケット

【投資家保護】

レバレッジ規制

最大25倍まで可能！



ロスカット
ガイドライン制定

損失を限定！



顧客預り資産
の信託義務
資産の安全性確保



透明化・健全化の更なる進展

Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介





FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
（その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更）

FX専門業者で東証一部上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場（※現東証JASDAQ市場）にFX専門業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録（当時）
- さらに2012年5月東証二部へ上場、2013年5月東証一部へ指定変更

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約22万口座、預り証拠金約432億円（2013年8月末現在）
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中ではトップクラス
- 外資系銀行と並び、『大証FX』にマーケットメイカーとして参加

会社ロゴ



社是

DON'T STOP!

とめない、とまらない。

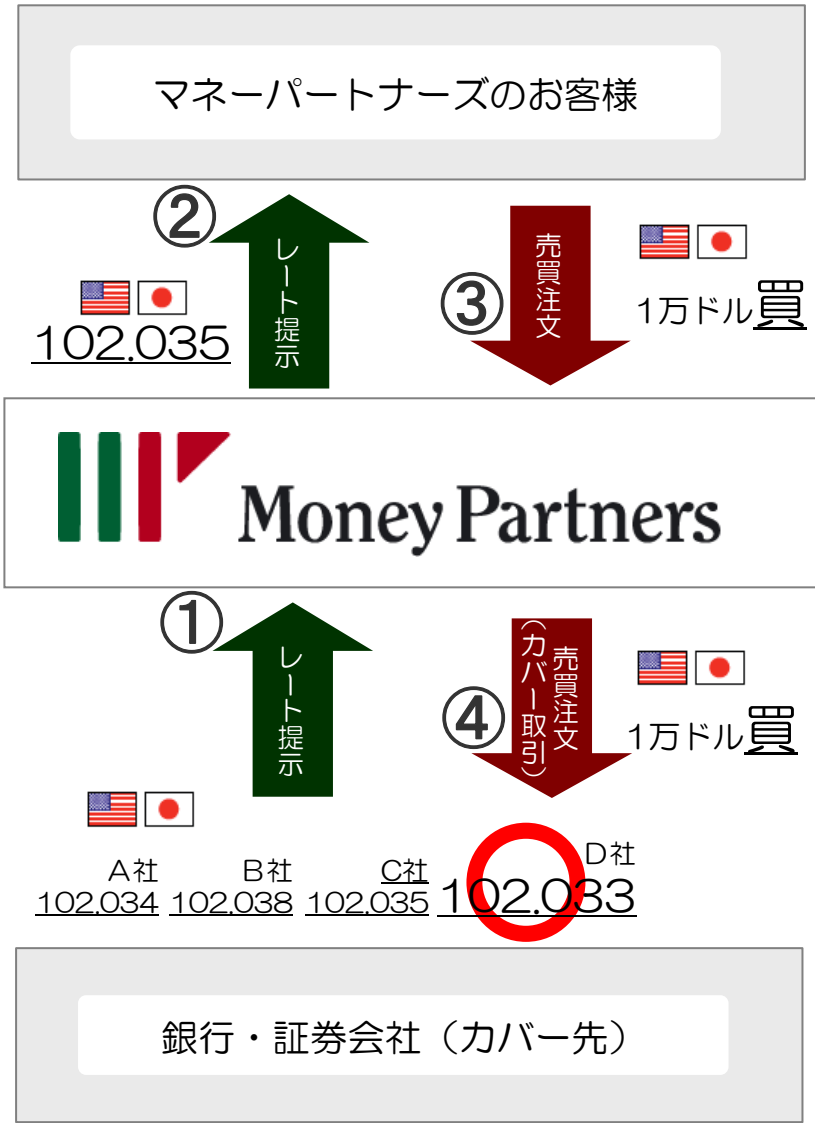
Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み





当社グループの収益構造

Money Partners Group



- ① 複数の銀行・証券会社（カバー先）よりレート提示を受ける
- ② お客様へレートを提示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を、銀行・証券会社（カバー先）へカバーする

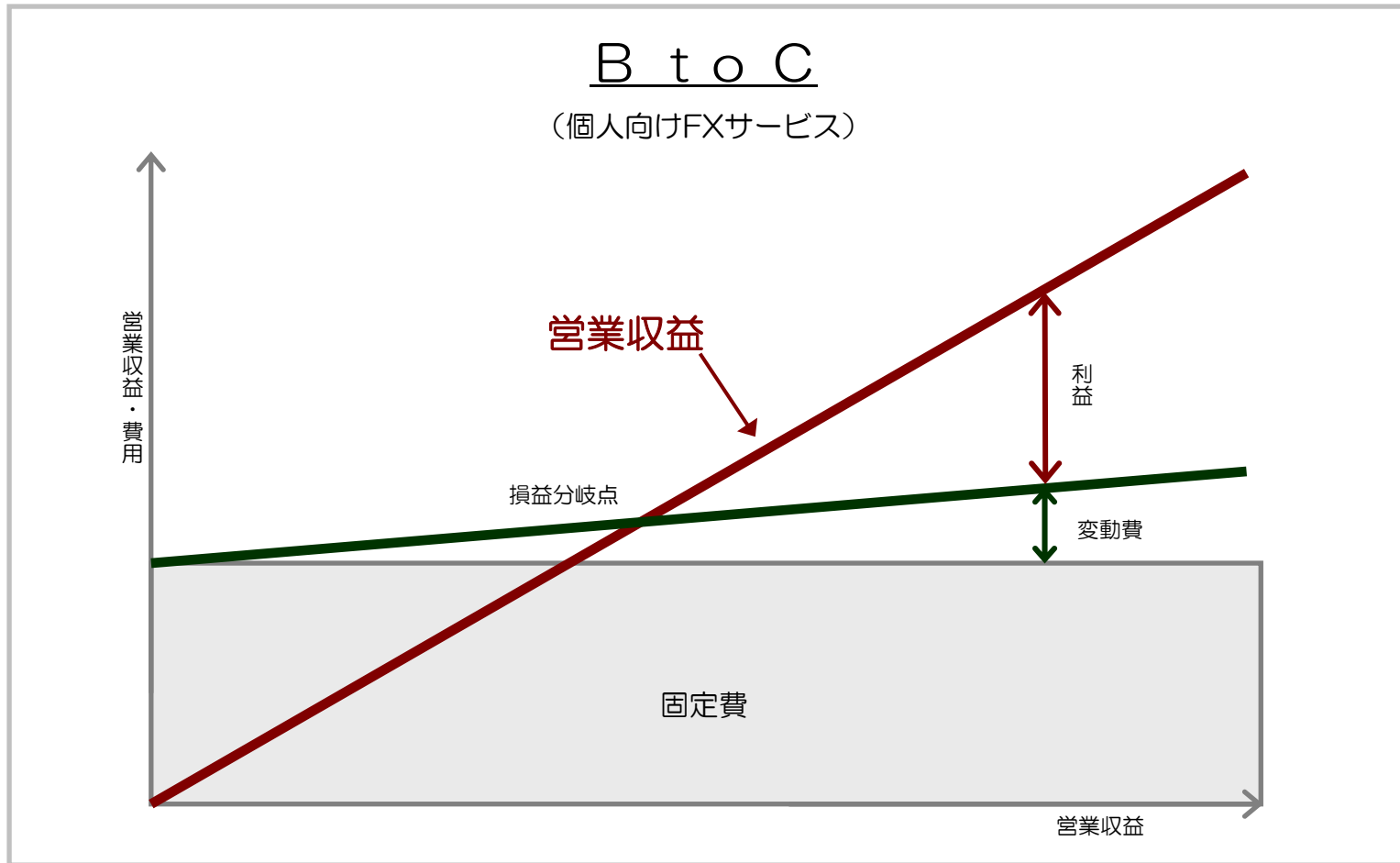
お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

$$102.035 - 102.033 = 0.002円$$

$$1万米ドル \times 0.002円 = \mathbf{20円}$$

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.32、33)も併せてご覧ください。

当社グループの基本的な利益構造



※上記のほかに大証及び金融機関向けFXサービス等からの収益（B to B）もあります。

変動費の割合が小さく、損益分岐点を越えた後は営業収益に比例し利益も大きくなる。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

商品性を改良しビギナー層向け施策に注力した新しい「nano」
米ドル円スプレッド0.3銭など業界最安水準を実現



マネーパートナーズは少額FX取引の元祖！！



◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

売却手数料が完全無料でお取引いただけます。
保有株式を代用掛目70%で評価し、現金不要でパートナーズFXがお取引いただけます。

ここがスゴイ！ マネパの証券取引

預けた株が証拠金！ **現金不要でFX取引可能!** 掛目 **70%**

手数料がダンゼンお得！ **売却手数料が完全無料** 約定代金に関わらず **0円**

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ





差別化商品・サービス

Money Partners Group

日本 最安

※

お得で便利! マネパの
外貨両替・受取サービス

※800通貨以上の場合。矢野経済研究所調べ。



なんと
最大 **98%OFF**
両替手数料

利用者急増中!

成田・羽田・関空・セントレア

空港で外貨を受取れます!

初回限定! 外貨両替・受取サービス ✈

「手数料実質ゼロ円」キャンペーン実施中!

9月30日
申込分まで

IV. 業績の推移





2014年3月期第1四半期 連結決算の総括とポイント

- ① □座数は22万□座と順調に拡大。預り証拠金も□座数の拡大に伴い前四半期比7.6%増の42,327百万円に。

総□座数	220,361□座	2013/3期4Q末比	3.0%増
預り証拠金	42,327百万円	2013/3期4Q末比	7.6%増

- ② 第1四半期（2013/4-6）の外国為替取引高は、ホワイトラベル取引終了の影響はあるものの、自社顧客の取引高が増加したため、前四半期比1.3%減とほぼ横ばいに。

4-6月取引高	5,948億通貨単位	2013/1-3月比	1.3%減
---------	------------	------------	-------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益はカバー取引手法の最適化等により1,569百万円（前四半期比4.4%増）、経常利益は427百万円（前四半期比90.3%増）となった。

- ④ 四半期純利益は前四半期比98.8%増の247百万円となった。

- ✓ 取引高当たりの収益性の低い通貨ペアの取引高割合が増加しているものの、カバー取引手法の最適化等の取組みが功を奏し、営業収益は前四半期比4.4%増加。
- ✓ 前四半期中にホワイトラベル取引が終了した影響はあるものの、外国為替証拠金取引への注目の高まり等により顧客□座数は増加し、自社顧客の外国為替取引高が伸びた結果、前四半期比1.3%減少に止まる。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位：百万円

	2012/3期			2013/3期				2014/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	
営業収益	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	1,504	1,569	4.4%
受入手数料	4	2	3	2	1	6	17	3	△82.5%
トレーディング損益	1,903	1,910	1,786	1,592	1,202	1,548	1,473	1,563	6.1%
金融収益	4	3	4	4	4	4	3	2	△27.9%
その他の売上高	9	5	5	4	4	4	9	0	△97.8%
金融費用	38	37	32	21	22	22	21	16	△22.2%
売上原価	5	3	3	2	2	2	5	0	△90.0%
純営業収益	1,878	1,882	1,763	1,579	1,188	1,538	1,476	1,552	5.1%
販売費・一般管理費	1,801	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	1,260	1,112	△11.7%
営業利益	77	241	129	52	△143	199	216	440	103.6%
経常利益	67	237	123	29	△142	200	224	427	90.3%
税金等調整前四半期純利益	92	237	117	29	△239	198	202	412	103.9%
四半期純利益	80	134	66	16	△167	122	124	247	98.8%
営業収益経常利益率	3.5%	12.3%	6.9%	1.9%	△11.8%	12.8%	14.9%	27.2%	

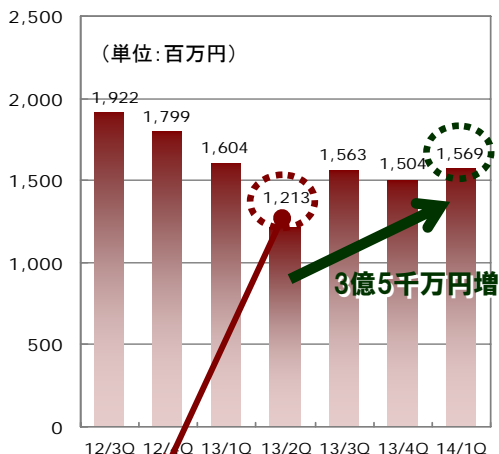
ホワイトラベルサービスの終了に伴いシステム関連の固定費が減少する等コスト構造が大幅に改善。前四半期と比べ営業収益が4.4%増加した一方、販管費は11.7%減少。



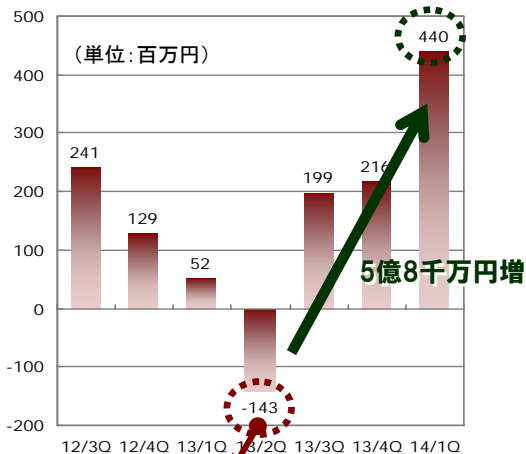
業績・財務推移

Money Partners Group

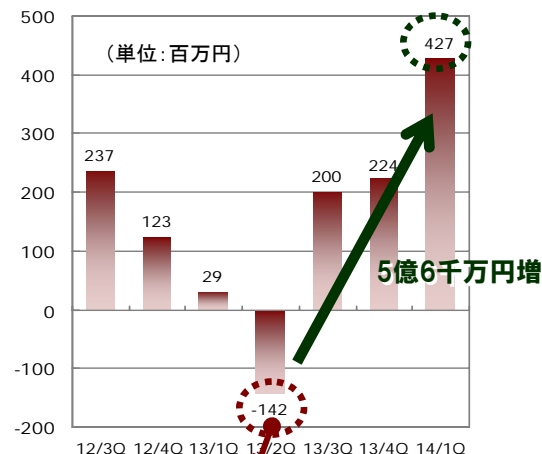
■営業収益



■営業利益

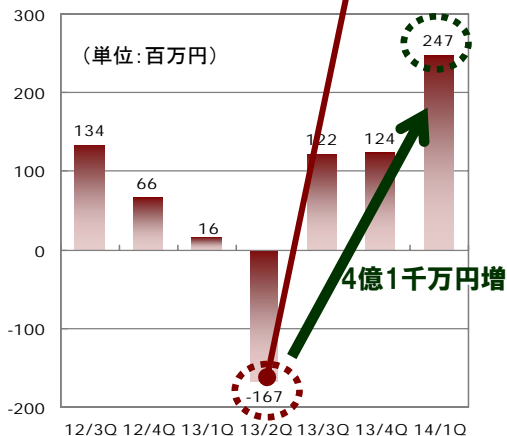


■経常利益

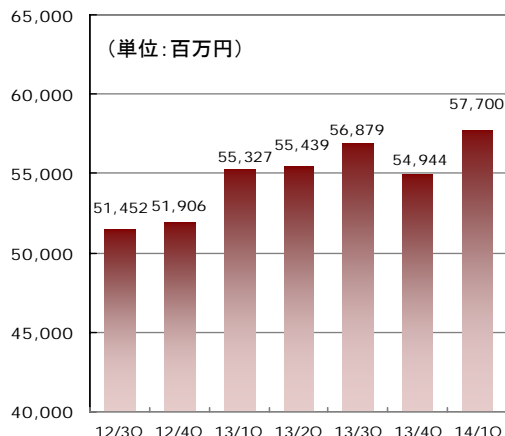


相場の方向感や空前の低変動率等の影響により外国為替取引高が伸び悩み、13/2Qでは営業損失を計上。

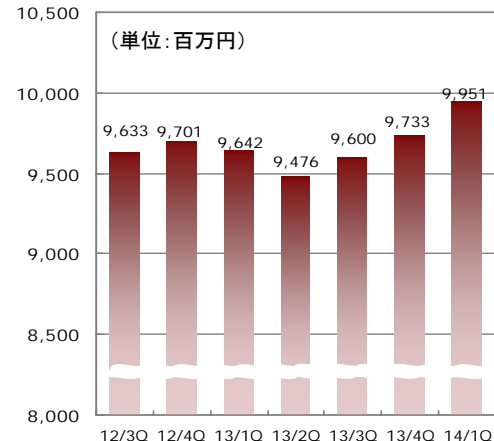
■四半期純利益



■総資産額



■純資産額



14/1Qでは自社営業基盤の強化とホワイトラベルサービスの終了に伴い損益分岐点が大きく低下。営業収益が13/2Q並みの水準となっても利益を確保できる体質に。



月次業績指標推移

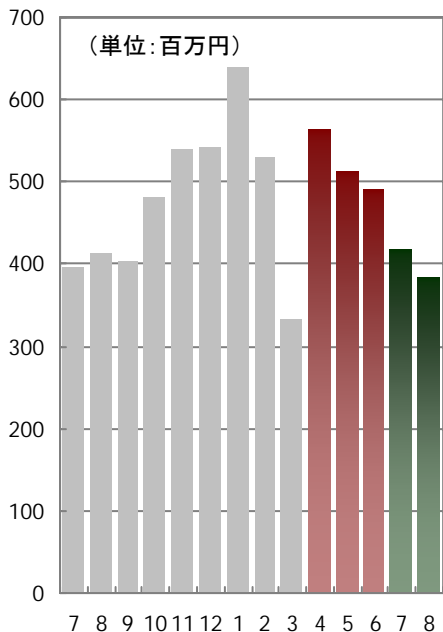
Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

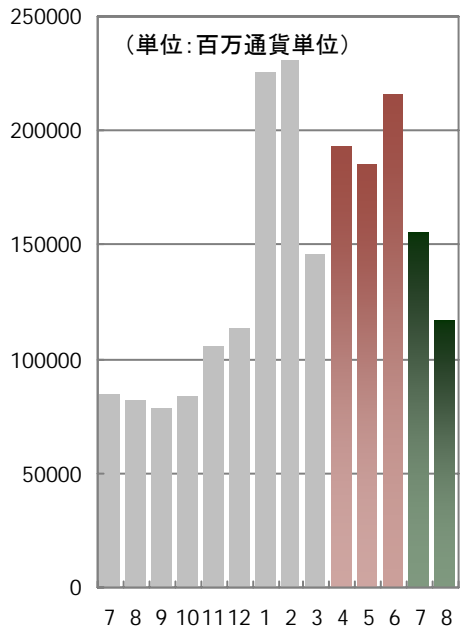
	2012年						2013年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
営業収益(百万円)	396	412	404	482	539	542	639	531	333	565	514	490	417	385
外国為替取引高 (百万通貨単位)	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982	225,359	231,130	146,144	193,096	185,542	216,211	155,483	117,466
顧客口座数(口座)	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859	210,010	212,103	213,850	216,178	218,537	220,361	222,432	224,281
顧客預り証拠金(百万円)	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929	42,139	40,774	39,321	41,940	42,801	42,327	42,886	43,202

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金については、2013年3月末までホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

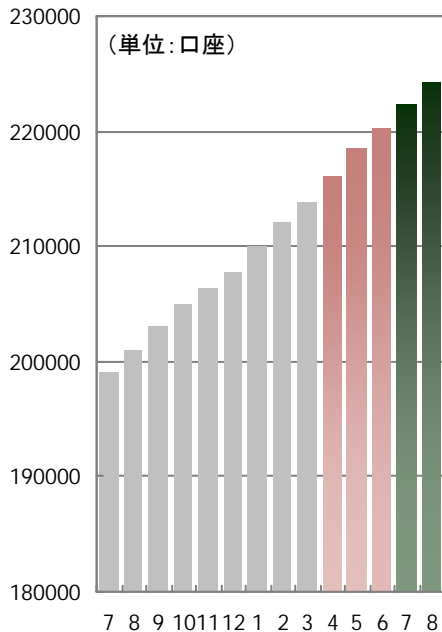
■ 営業収益



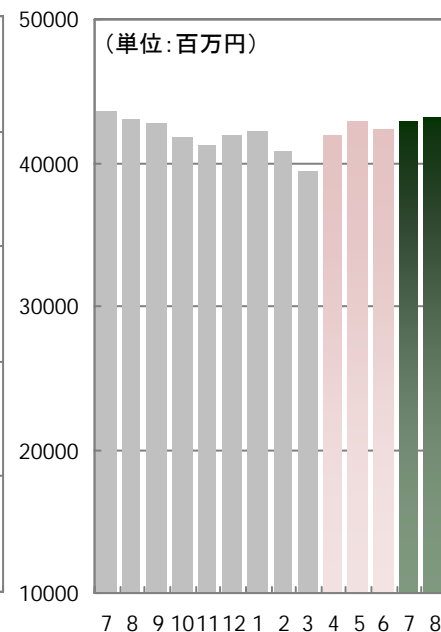
■ 外国為替取引高



■ 顧客口座数



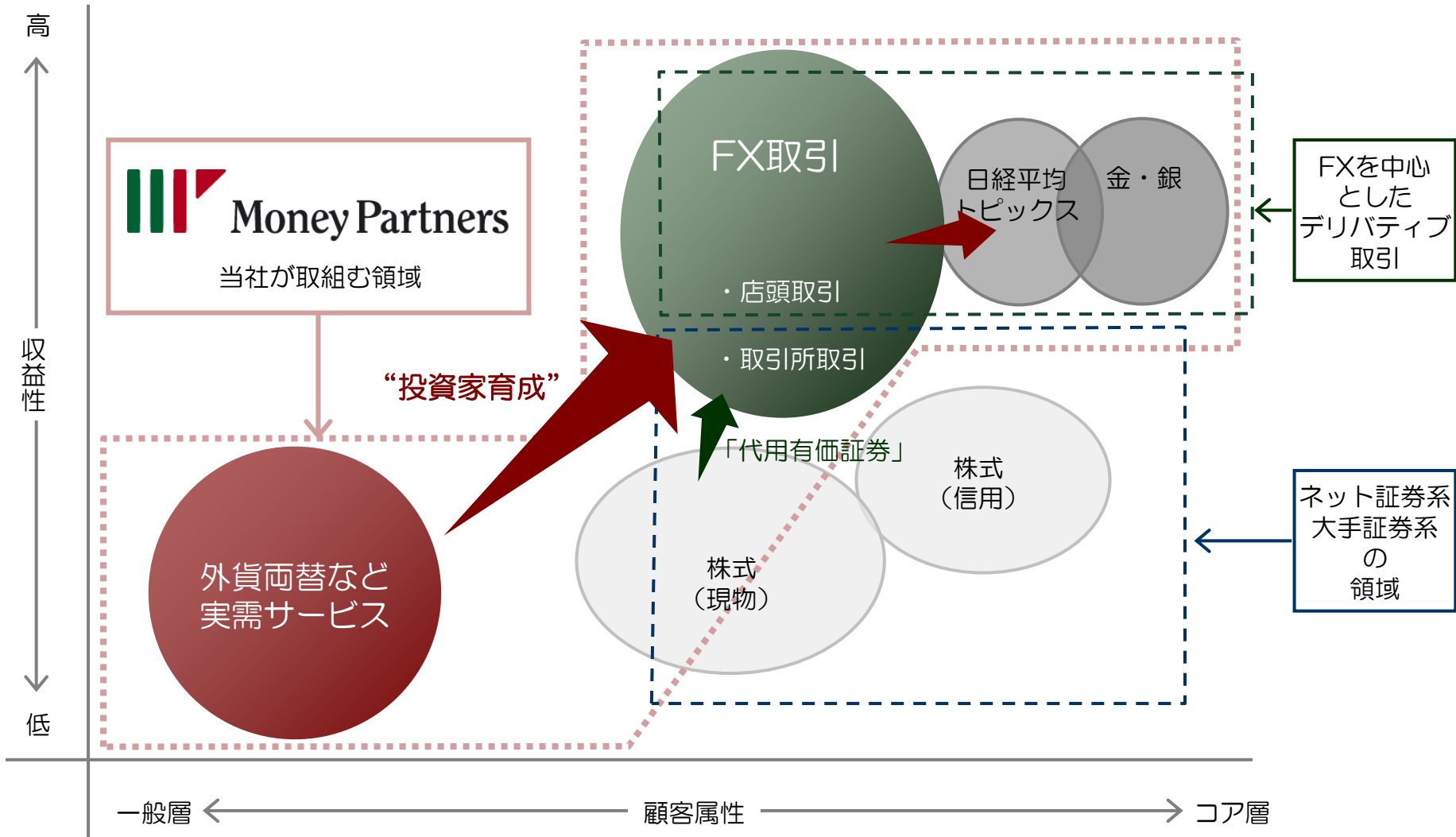
■ 顧客預り証拠金



V. 経営戦略



中長期的な経営戦略 ～実需層への取組み強化



実需層への取組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す

VI. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2014年3月期第1四半期（2013年4～6月）のROEは10.1%

※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE（年換算）＝（四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100

▶ 2014年3月期第1四半期（2013年4～6月）の営業収益経常利益率は27.2%

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE及び営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**（年2回）

	2013年3月期				2014年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	16	△167	122	124	247			
配当金の総額 (百万円)	—※		30					
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式20,023)				321,480 (内、自己株式 20,023)			
1株当たり 配当金	0円※		100円					

※2013年3月期の中間配当金につきましては、無配とさせていただきます。

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げや年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図ってまいりました。今後も、株主利益の最大化を目指して参ります。

第9期定時株主総会の日曜開催

当社は、株主総会を「株主の皆様と会社経営陣との大切な対話の場」ととらえ、できる限り多くの株主の皆様にご出席いただけるよう、本年も定時株主総会を**日曜日**に開催いたしました。総会後の懇親会も含め**約200名**の株主様にご出席いただきました。

参考資料



販管推移
収益構造
FX取引の仕組み
グループ概要



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位：百万円

	2012/3期			2013/3期				2014/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	
取引関係費	915	781	767	634	481	439	400	259	△35.3%
人件費	244	263	261	256	242	235	244	257	5.1%
不動産関係費	248	195	206	219	216	218	216	154	△28.3%
事務費	234	237	236	247	221	280	233	283	21.5%
減価償却費	131	135	135	130	144	141	143	122	△15.0%
租税公課	11	11	12	11	13	10	12	15	25.5%
貸倒引当金繰入れ	0	△0	—	—	—	—	—	—	—
その他	15	18	13	26	11	12	9	19	109.5%
販売費・一般管理費合計	1,801	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	1,260	1,112	△11.7%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	147	130	125	124	130	58	72	79	9.9%
システム関連費用(※2)	399	340	359	380	357	408	362	349	△3.5%

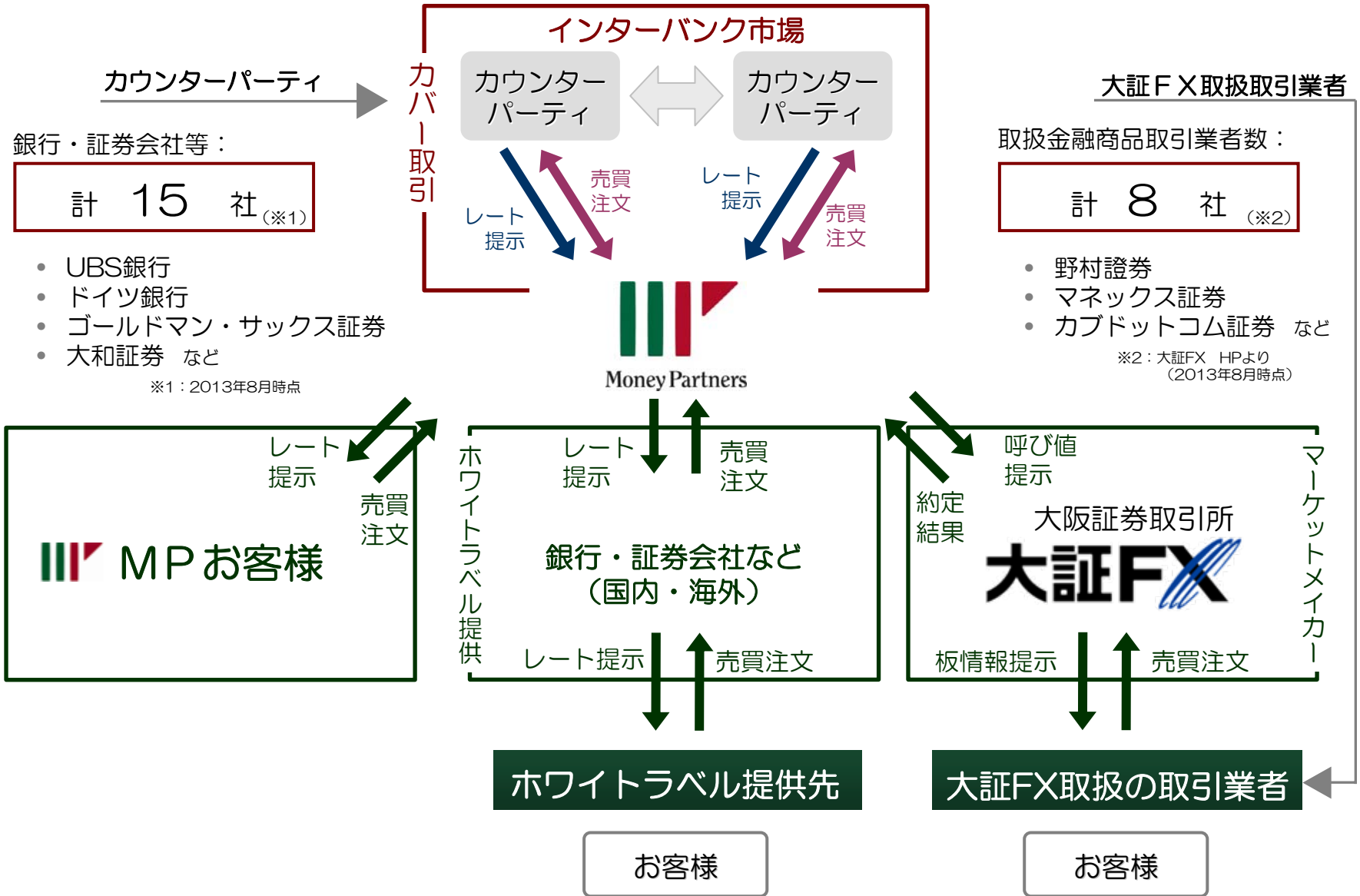
※1 取引関係費の一部となります。

※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

1. 取引関係費はホワイトラベル取引の終了等の影響により前四半期比35.3%減少の259百万円。
2. ホワイトラベル取引終了に伴い不動産関係費が減少した一方、システム関連の事務費が増加したため、システム関連費用全体としては、前四半期比3.5%減少の349百万円。
3. その他として総会費用等が約10百万円発生しているため、コスト全体では前期比11.7%減少の1,112百万円。



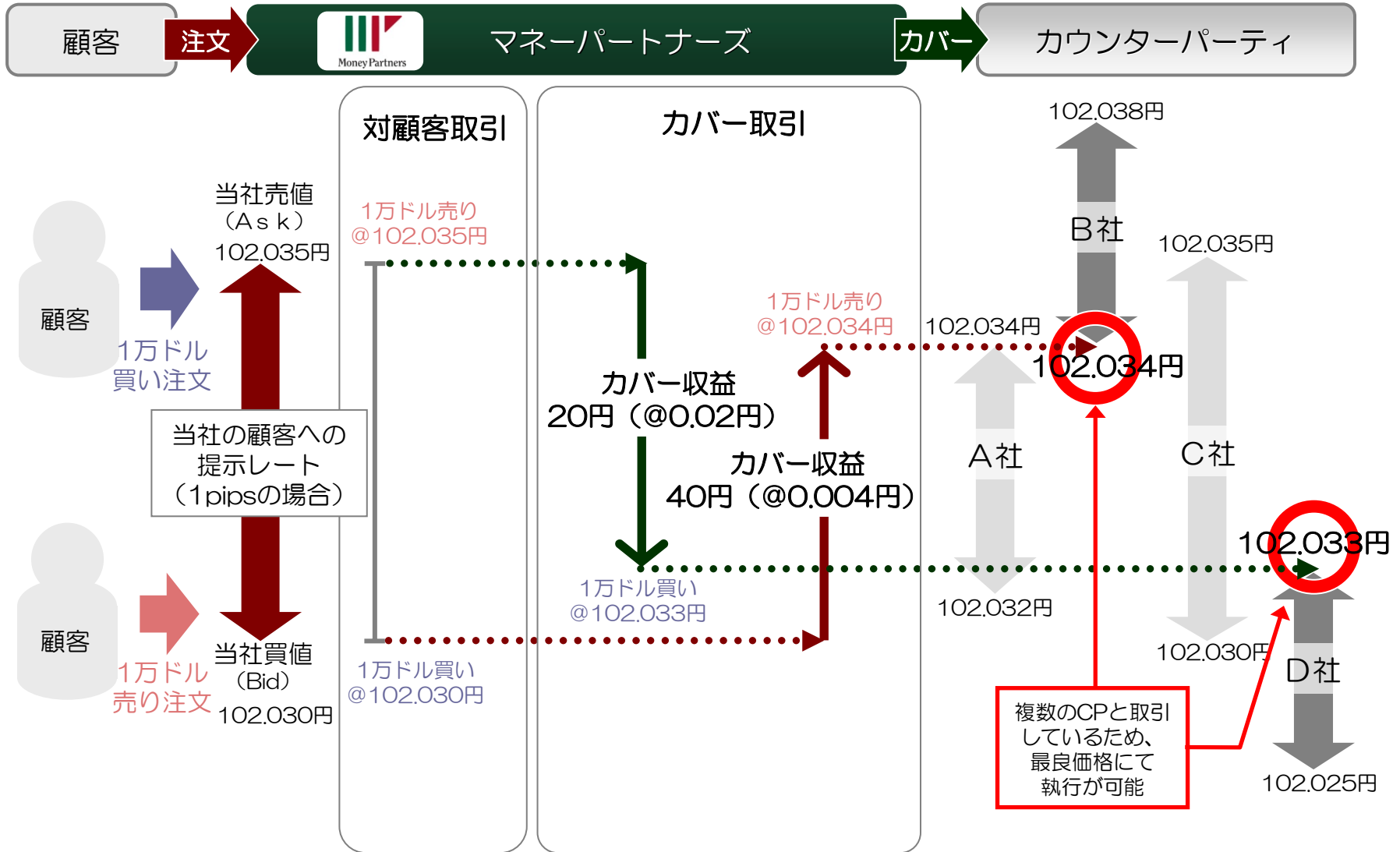
当社グループの収益構造（ご参考）





当社グループの収益構造（ご参考）

Money Partners Group





外国為替証拠金取引（FX取引）の仕組み

1ドル=100円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

(為替レート)

(為替レート)

ドル高・円安
の進行

1ドル=101円
(値上がり)

ドル安・円高
の進行

1ドル=99円
(値下がり)

売り=1万米ドル
(円換算101万円)

どちらからでも
取引開始が可能

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

101万円-100万円=
1万円の利益

100万円-99万円=
1万円の利益



グループ概要（平成25年6月30日現在）

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億86百万円
- 純資産 99億円
- 発行済株式総数 321,480株

■当社グループの事業内容

株式会社マネーパートナーズ（100%子会社）

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

登録番号：関東財務局長（金商）第2028号

事業内容：

- (1) 金融商品取引法に規定する第一種および第二種金融商品取引業
- (2) 外貨両替業務
- (3) 商品先物取引業

株式会社マネーパートナーズソリューションズ（100%子会社）

事業内容：

- (1) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
- (2) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング
- (3) 前各号に関連する企画、調査、研究、コンサルティング及びこれに付帯関連する一切の業務





本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2013年9月28日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2013年9月28日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.625%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会